



## 神奈川県知事

## 長洲 一一一

第19回関東ブロック保育研究大会がこの神奈川県に開催されましたことを皆様とともにお祝い申し上げますとともに、来県された皆様を心から歓迎申し上げます。保育所は家庭における保護養育を補完するものとして制度化されたものですが、今日保育所は、児童の保育をとりまく環境が変化する中でますます重要な地位を占めるにいたっております。婦人の社会進出、核家族化の進行等により保育需要は量的に増大し質的にも、長時間保育、乳児保育、障害児保育への要望が高まる等急激に多様化する傾向にあります。私は皆様方がこうした保育をとりまく社会経済状況の変化や影響を受けとめながら、日々児童の福祉向上に献身的に努力しておられることに對し、日ごろから深く感謝いたしております。

私はこれからの社会福祉を考えると、一つには立派な社会福祉施設をたくさん作ることも大事ですが第一線で、現場で福祉活動に従事しておられる方々が、愛情をこめて使命感に燃えて心から活動できる環境を創り出すことがきわめて大切であると思っております。こういう意味で本県では児童福祉法制定30周年の記念すべき年に全国に先がけて12月の第一土曜日を「保母の日」と制定し、保母さんの日、ごらの御芳苦に對し県民こそぞ感謝の気持ちをあらわすことにいたしました。同時に保育という重要な問題を県民全体で考えましょうということにしました。二つには県民一人ひとりがお互いにいたわり助けあう温かい心、福祉の心を持つことだと思えます。私は皆んなが福祉の心―私は燈（ともしび）と呼んでいます―が燃やし続ければお年寄りも若者も、健常者も障害者もみんなが手を握り肩を組み合せて生きがいに満ちた社会がきっと創られると確信しております。そんな願いをこめて県民一人ひとりが思いやりの燈をもちよる「ともしび運動」を展開しております。一人の胸にとっても小さな燈もそれを次から次へと点じてゆけばつぎることなく広がって、太陽のように明るく暖かくこの神奈川県を照らすことを私は確信いたします。

豊かな国づくりは、いつも豊かな

## 育研究大会歓迎のことは



## 神奈川県社会福祉協議会会長

## 中村 真次

第十九回関東ブロック保育研究大会を国立公園である景勝の地、箱根町において開催できますことは、神奈川県社会福祉協議会にとつて誠に光栄であり、参加者の皆様を心から歓迎申しあげます。

最近社会福祉をめぐる社会情勢は大きく変化しております。とりわけ人口の都市集中化や、核家族化の進行等、急速な社会構造の変動にともなう、家庭をとりまく生活環境の変化は、家庭の機能の稀薄化となり、児童の養育に大きな影響を及ぼしております。

こうした中で保育所が、家庭における育児を補完するものとして、児童福祉の向上に果してきた役割は多大なものがあります。今日、保育所に対する住民の関心が高いものがあります。共稼ぎ世帯の増加、婦人の社会活動への参加の自覚など、社会的保育への期待と、適正配置を含めその増設要求が強まされております。

一方婦人の就労形態も多様化し保育時間の延長や、乳幼時期が人間形成の基礎づくりの重要な時期であることから、乳幼児の特性を十分配慮した、保育内容の充実を

要望する声もともに強まっております。

このことは、社会福祉の分野にあって保育所の占める社会的存在価値、意義の大きさは計り知れないものがありますが、この事業にかかわっておられる方々の日ごろのご努力に對し、感謝と敬意を表するものであります。

この様なときに、関東ブロック内の保育関係者により本大会が開催され、保育所の果すべき役割と乳幼児の発達に即したあり方等、地域住民の期待にこたえるための研究協議が深められ、今後の保育活動の充実、発展に寄与されることは時宜を得たもので、誠に意義深いものと存じます。

終りに本会では、この大会を開催するにあたって、円滑なる運営を期するため、神奈川県保育会と協力して、万全な態勢を目指して大会の準備、業務にあたっております。何かと不行き届きの点もあろうかと存じます。至らぬ点につきましても何とぞお許しいただきますが歓迎の挨拶いたします。

人づくりにかけられ、人間形成に最も重要な幼児教育の充実こそ明日の繁栄の基盤であるという大きな使命をもったこの大会で、より

### 神奈川県保育会会長

安 部 龍 巖

才十九回関東ブロック保育研究大会が本県において七月五日から三日間にわたって開催されることになりました。

関東十三都府県の多数の同労の方々をはじめ、保育関係者が一同に会して、当面する保育問題について研究討議することは時機に適した、極めて意義ある集いと存じます。

私も本県保育関係者は、各位の御来会を心から歓迎いたします。せっかく遠路おいで下さいまして十分な御接待もできず、諸事不行届であります。幸にして文化の香り高き小田原の奥座敷、天下の景勝地箱根/十万余坪の敷地に建つ、いで湯の「小涌園」を会場とし、宿舍として開催されることになっております。できればこの機会を利用して観光視察等も敢行され、明日への原動力を培っていただきたいと存じます。

一層の研鑽を積み重ねて保育事業の進展に大きな成果をあげられますことを心から祈念して歓迎のことばといたします。

保育事業に対する国民の関心は

近來ますます高まっており、それだけに保育所に対する社会の期待と要望はきわめて大きいものがあります。したがって私共保育事業関係者としては、この事業の社会的責務の重大さをあらためて認識するとともに、私たちの周囲に横たわっている問題に積極的に取り組み対処してゆく心構えが必要であると考えます。

この大会で、関東ブロック保育事業関係の皆さんが、一同に会して、愛と誠の大きな結びあいを、一層強め、多くの今日の課題と将来の保育事業のあり方を熱心に討議解明して、児童福祉の向上に、大いに意義ある大会に盛りあげ、実りある成果を期待してやみません。一言のべて歓迎の辞といたします。

# 保 育 関 東 ブ ロ ッ ク 第 19 回



箱根町長

勝 俣 茂

第十九回関東ブロック保育研究大会が、来賓各位をはじめ、保育の第一線で活躍の先生がたをお迎えして、私どもの箱根町で開催されますことは、まことによろこばしく心から歓迎申し上げます次第でございます。

現在、われわれの周囲におきましては、幼児教育改革が、学制改革全体の要として大きくクローズアップされ、人間形成の最初の過程である幼児保育の問題が、新しい視点から見直され、そのありかたについて、世論の関心をあつめているところであります。

こうした問題を抱えているこんにち、健康な社会性、たくましい創造性、それに真の人としての躰け等、豊かな子どもたちの個性を養うためには、どのような原理が打ち立てられなければならないか。また、理論と実践との両面から望まれる現代にふさわしい子ども像を作り上げ、日本の風土にねぎした子どもたちの姿をのびやかに描き上げることが、我々、又、これに取り組む保育者皆様がたの、最大の使命であると考えております。

幸いに本大会におきまして、地域社会の保育ニーズの現状と保育所のあり方を探るということで、日頃本来の業務御繁忙の中にあるにもかかわらず、幼児保育について日常行なっている自主的な研究等、その発表の機会を持たれ、討議を深め、さらにその充実を期せうとされることは、まことに意義あることと深く感銘するものであります。

どうか皆様がたにおかれましては、本大会の日程を有意義に終了され、又今後ともより一層幼児教育の向上に努力をされ、増々保育行政に寄与されますよう特段のご精進を切にお願い申し上げます。

なお、皆様がたには、本大会の寸時をさかれ、箱根の名所旧蹟、あるいは私どもの観光公営施設等をご視察いただけましたら、誠に幸いに存ずるものであります。終りに皆様がたのご健康と、児童福祉増進のため増々ご活躍あらんことを心から祈念いたします。私のあいさつといたします。

# 昭和53年度 神奈川県保育会 事業計画

今日の厳しい社会状況と多様化する社会の中で、次代をになう児童の福祉を高める責務を負う、われら保育者は保育所の果すべき役割と児童福祉の理念を確立し、宣明するため、あらゆる力を結集して三年ぶりに当番県として才一九回関東ブロック保育研究大会を総力をあげて開催と、新たに制定の神奈川県保育の日を、保育関係者の幅広い運動として発展成功させること、更にまた相互の連帯と資質向上を計ると共に保育所の持つ地域性をより高め、地域住民とニードに應えるため関係機関団体地域等の協力を得て次の事業を行う。

- 1、総会を開き予算・決算・事業計画その他の重要事項を審議する。
- 2、委員会は事業遂行に関し随時定例的に開催する。
- 3、部門別研究会を開催し保育の進展をはかる。
- 4、施設長の質的向上を目指した研修会を開催する。
- 5、保母求人対策

県内養成校との話し合いを深め、期待される保母像を求めて質的向上をはかる。

# 昭和52年度 神奈川県保育会 事業報告

- 6、保母の日の発展充実
  - 施設関係者が一丸となって「神奈川県保母の日」を盛り上げ、ともし灯運動の一環としての保育まつり(仮称)に発展させるべく県民運動を展開する。
  - 7、県下保育従事者、保護者の研修・交歓・運動の中心としての保育センター建設を期すべく運動を展開する。
  - 8、新任保母の激励会を開催する。
  - 9、共通研究テーマに基づく研究討議を深め県大会・関東ブロック大会・全国大会へと意見の積み上げを行い代表者を派遣する。
  - 10、施設見学を実施し施設長の見聞をひろめる。
  - 11、会報及び関係情報の速報を発行して広報活動する。
  - 12、表彰規程に基づき関係職員を表彰を行うと共に各種表彰を祝し記念品を贈る。
  - 13、各種大会等へ代表者を派遣する。
  - 14、保護者会結成について検討する。
  - 15、保母会の育成及び援助を行う。(以下略)

- 4・23 才4回新任保母激励会
- 5・14 才11回神奈川県保育事業大会。主題「乳幼児の発達と保育所・家庭の役割」(神奈川県保母会と共催)
- 同 総会、「事業計画・報告、予算・決算、規約改正」
- 6・23-24 関東ブロック保育研究大会(銚子市)
- 9・27 西湘ブロック施設長会議
- 11・16-18 全国保育研究大会(高知市)
- 11・21 県内保育施設見学(伊勢原市内施設)
- 11・24 県内養成校と懇談会、「新卒保母の求人状況、卒業予定者の求職状況について」
- 11・28 湘南ブロック施設長会議
- 12・2-3 関東ブロック保育会(協議会)長会議(東京)
- 12・8-9 施設長研修会(箱根小涌園)「身分法の意義と問題点」講師 内藤一郎、新会計事務について県児童課と意見交換
- 12・16 児童福祉法制定30周年記念の集い、一保育予算要求緊急集会。(東京)
- 12・23-28 保育国家予算獲得運動員
- 2・6 県保母会と懇談会「保母の日のあり方ととりくみについて」

その他必要に応じ委員会(6回)企画(4回)会報編集(6回)予対(1回)各運営委員会を開催した。

保育かながわ発行 21・22(保母の日制定臨時号)号。

## 昭和五十二年 神奈川県 保母会事業内容

- 一、各地区別保育内容研究会
- 二、県保母会保育内容研究会
  - 課題「健康」(歩行、走行)、各年令別に実践をふまえながら、カリキュラムの作成について
  - 三、身分法研究会、研修会
  - 四、中央保母研修会
  - 五、才十四回体育祭
  - 十月二十九日、於、横須賀市
  - 六、会報「やまゆり号」の発行
  - 七、保母の日への参加

## 第十二回神奈川県 保育事業大会おわる

近年における社会情勢の激動的な推移はあらゆる環境の変化を来し、保育所に対する地域社会の関心は高まりを見せ、多様な保育ニーズに発展増大した今日、保育所・園長・保母の果すべき役割を明確にすると共に、児童の発達に即した保育のあり方について研究討議

を深め、又、来るべき才一九回関東ブロック保育研究大会の当番県として開催の充実と、地域に密着した保育ニーズに 대응することを旨として神奈川県保母会共催の下に、県大会が五月十三日土曜日神奈川県社会福祉会館で盛大に開催された。

当日は好天に恵まれ参会者は会場に溢れた。

午前中関係各方面の来賓を迎え式典が挙行され、その席上全参会者の祝福の下に、選ばれた二名の県内保育関係永年勤続者に対する表彰と併せて全社協会長以上の表彰受賞者八名に対し記念品が贈られた。

午後は園長部会、保母部会に分散し、各主論者の研究発表を中心、横小路県児童課長、土山全保協身分法促進委員、池上横浜女子短期大学助教授、高島七沢りハビリ子ども園長等各氏の助言者をはじめ、活潑な意見交換、質疑応答が交され終始熱気に溢れた研究討議が進められて、関東ブロック研究大会への意見積み上げが計られ盛会であった。

参加者は式典と部会の研究討議を通して充実した一日を過し、明日に向つての保育前進の活力を得て力強く夕映えの街に散会した。

## 昭和53年度民間保育所への補助事業状況

(県・指定都市)

事業名	県・市	神奈川県	横浜市	川崎市
経営調整費		事務費の18%以内	3,920円/月	事務費の20%
保母雇用費		有資格者 89,000円/月 無資格者 83,000円/月	88,500円/月	有資格者 89,000円×17ヶ月 無資格者 83,000円×17ヶ月
長時間保育費			(臨時職員) 530円/時間	施設長 472円×3時間×12ヶ月 保母 472円×7時間×12ヶ月
乳児保育奨励費		4,500円/月	5,500円/月	2才未満児 1人 4,500円/月 0才児加算 " 10,000円/月
調理員雇用費		定員90人以上150人未満 } 1人まで " 151人以上 } 21,000円/月 定員150人 2人まで21,000円/月	22,600円/月	定員90人以上 21,000円/月
給食指導費		職員(保母定数+定数外保母1名) 1人当り 1,150円/月		保母1人 1,150円/月
障害児保育費		2才以上の障害児 4,500円/月	38,000円/月	28,000円/月
事務職員雇用費		33,000円/月	27,000円/月	33,000円/月
給食助成費		440円/月	550円/月	3才未満児 462円/月 3才以上児 528円/月
暖房費		100円/月	50円/月	100円/月
慰労金		夏 30,000円 冬 35,000円		
保育会・保母会		保育会 500,000円/年 保母会 300,000円/年	1,000,000円/年	
一般生活加算				児童1人 500円/月
行事用給食費				年8回 1回児童1人 100円
健康診断委託費				嘱託医手当 4,000円/月 (定員70人以上 3,950円)
寝具衛生費				児童寝具洗濯・乾燥・殺菌料 全施設分 年額736千円
賠償責任保険事業費				全施設分 年額50,000円
学校安全会事業費			A・B階層 全額 C・D " 半額	A階層児童1人 8円 A階層以外 " 85円
民間保育所運営育成費				川崎市保育会へ委託 7,690千円
その他				産休代替職員雇用費 1人日額3,400円~3,600円 特別扶助費 児童1人 3,000円/月

(注) 神奈川県・横浜市未確定のため52年度のもの掲げた。

# 神奈川県「保母の日」制定

多年県下保育関係者の宿望であった保母の日が、全国に先きかけて制定され、去る五十二年十二月三日(土)、県立音楽堂で才一回目の「保母の日」が開催された。

当日、県下各地から参集した保母並に保育関係者、保護者が満場にあふれ、ホール廊下まではみだした人達は、長洲知事のお祝いのあいさつから保護者代表の感謝の

## 保母の日制定要綱

- 1、趣旨  
保母が児童福祉の増進に極めて重要な役割を果していることに鑑み、保母の功労に報いると共に、保母の勤労意欲の高揚と社会的地位の向上を図り、更に保育の重要性について広く県民の理解と認識を高めるため「保母の日」を制定し、児童福祉の向上を図る。
- 2、名称  
「神奈川県保母の日」と称する。
- 3、期日  
毎年十二月の才一土曜日とする。
- 4、実施行事  
(1)県関係  
ア、保母賞贈呈式とあわせて保母の日の集いを実施することに

より、その功労に報いるとともに保母の士気の高揚を図る。

イ、保母が日常、児童福祉の向上に多大の貢献をしていることについて、新聞、テレビ、ラジオ等の各種広報媒体の活用を通じ地域社会の理解を深め「神奈川県保母の日」の趣旨の普及徹底を図る。

(2)市町村、民間児童福祉施設及び民間児童福祉団体関係  
「神奈川県保母の日」を記念し、夫々の立場において地域社会に対し、保母の職務について理解と関心を高めるような啓蒙活動を展開する。

ことばに至りこの保母の日の意義の深さを身近に受けて、その感謝と喜びの気持が会場一ぱいに感じられた。その日の声――

「保母の社会的地位向上を図るため保母の日が制定されるよう制定促進委員会の努力により全国に先きかけて認められたことは大変うれし。しかしこの日が絵にかいた餅にならないよう保母全員が参加し有意義な日となるようお願いします。」

(大和市若葉保育園瀬尾友子)

「保母の日が制定された。ありがたいことだ。感謝しようということより、大変なことになったという感じである。なぜなら保母の日が制定されたからにはその日を意義ある日にしていく義務を自ら担うことになるからである。

日頃保母という職業をゆっくり省る余裕もない私達が、年に一度でもその労を労り合いその意義を確認し、それに対する情熱を再燃させることが出来れば、保母同志が自らの社会的地位向上を自らの手で行っていくことにより保母の日を有意義なものとしてほしい。」

(横浜市杉田幼児園 佐藤貴紀子)

## 保母の日制定に

あたって思うこと

京浜女子大学長

松本尚

昔の歌の文句に「人の子我が子の区別もせずに」というのがあるが、保母さんが公平な愛の持主でなければならず、更に保母さんがじっとしていたのでは仕事にならず、幼児のいるところ常に保母さんがいなければならないのである。

又「最初の教師

は母にして最大の教師は母なり」という言葉の示す通り、子供とりわけ幼児は親が育てるべきだと私は信じている。

しかし、現代社会に於てはなかなかそうもいかず、親にかわって保母さんがその大役を担っているのである。それだけに、この度制定された「保母の日」の意義は、い

までもなく保母さんたちの「愛と汗」の仕事に、幼児を預ける親のみならず、すべての人々が、心からその労苦を認識し感謝し、併せて保母さん自身が自分たちの仕事の偉大さを改めて自覚する日だと信じている。

そして保母さんを養成する私たち養成機関の使命は、親にかわって惜しみなく「愛と汗」をさしのべ流すことのできる人を育成することであると、これ又思いを新たにしている。



佐藤貴紀子

全国保育協議会の私立専門委員会で、昨年の才21回全国保育研究大会での研究課題並に今日新聞紙上をにぎわしている私立保育所の諸問題について研究討議の結果を次のように発表している。概要を伝えると、

1、所得税をめぐる問題点

最近、所得税の納税に関連して脱税の上位ランクに保育所があげられているが、これは定員外の入所児童の保育料の会計処理が不明瞭なためおきていると考えられる。定員外の児童の受入れは本来好ましいものではないが、現実には定員外を認めざるを得ない実態があることも事実あり、現員現給にもとずく為、児童数の変動による保母定数の変動

整理は現実には不可能であるとか、認めざるを得ない項目をあげている。そして次の点を改善のめどとしている。

①定員外の児童数の限度を年間平均欠席児童数程度とし、定員の二割以内、この場合、最低

## 私立保育所に関する諸問題について

基準を遵守すること。

②収支帖簿を明確にし、脱税行為につながるような処理はしないよう留意すること。

2、児童福祉法施行令才十一条の解釈について

社会福祉に対する公的責任については、憲法25条、児童福祉法才24条に示されることである。しかし施行令才11条が、この公的責任に関する理念の具体化を示すものであると解することは、今日的な実態に則さない等四項目を説き、施行令才11条にいう措置にともなう施設入所に際して公、私を区別することは理念上、実態上ともに現実に則さない、又、個人立といえども公的基準(最低基準等)にもとずく処理条件を満たして公的

「認可」を受けている以上差別的対応をすべきでない。

3、個人立保育所の法人化問題

「社会福祉法人」は社会福祉事業法により規定され、法人組織及び運営については法により厳しい指導監督の対象となり、公共的

性格にもとづく施設運営を行う社会的組織であり「個人」とはおのずから区分されている。とくに乳幼児保育は公共性、社会的重要性において今や国民的期待にもとづく極めて公共性の高い事業であり、その運営にあたっては、個人立も法人化への移行へ大きく努力を払う必要がある。

4、保育所間、幼稚園と保育所間の適正配置

保育所の設置、幼稚園と保育所間の児童の受入れについてのトラブルが多発しているが、市町村段階に適正配置の委員会を設置するよう働きかけていくことが必要である。

5、委託契約の問題

措置権者と委託契約をむすぶべきであるという問題提起があったが、この件については厚生省の見解を求めると共に、とりあえず事故保障の保険金を市町村負担にするよう取りくんできることが必要である。

（全国保育協議会・私立専門委員会・報告より）

### 保母会体育祭

神奈川県保母会では、毎年、その事業の一つとして体育祭を行っています。秋の日曜日、県下の保母の親睦と健康の増進を願って開かれ、会員の最大多数の参加の場としても大いに意義ある行事です。二千人近い人々を集めての行事故、会員相互の努力なしではできず、更に会員はもとより各方面からの大きな協力を得て成り、その成果が見えないところに親睦の和を広げていきます。

昨年は、この関プロ開催地箱根の玄関口、小田原は四百名のトラックを持つ広大な緑の競技場に集い、青空の下、山々にピストルの音と歓声をひびかせ。一昨年は湖南の地、江ノ島の海を誇る藤沢で、雨あがりのグラウンドの整備に早朝からの地元の方々のお骨折りに始まった、まぶしい太陽の下の日……。時々空模様をうかがいながら集った湯ヶ原での一日。名産のみかんの競走が印象に残っています。そしてせっかくなの努力も甲斐なく雨にたたられ体育館に押し入りワイワイと声をからした一日、等々もう既に今年の秋には才十四回の横須賀大会を迎えようとしています。各地区まわりも二回目に入り地区や会員の増加で一回目の勝手の違いにとまどうことも多々あります。うれしかった上位入賞の個人へのごほうびも参加者全員への参加賞も止むを得ず廃止されましたが、地区の団結はかたく、参加することに意義ありとはいながらも競走心も、いっぱい。応援に競走に無邪気な歓声をあげる喜び……。

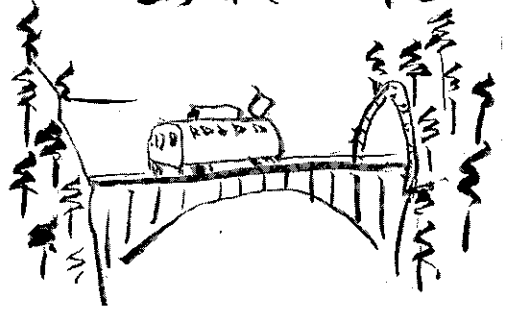
東名を走る車窓から小田急や東海道の電車の窓から体育祭で知った地名を聞き、こんなところにも、この辺にも、同じ保母の仲間がいる……と、思わず興味と親しみを覚えます。日頃の保育の苦勞を忘れて遊び、保育関係者との暖いつながりは更に保育の向上にもむけられます。

小田原市保母会

大井美和子



# はこね あれこれ



### ◆「箱根」の名のおこり

日本書記には、「宮衙」。万葉集には「宮根」又は「波古瀬」という字が出てきます。又、北中国や朝鮮の古語に、ハコ（神の住むところの意―神仙―）ネ（山の意）というのがあります。この地に神にまつわる伝説が多いことからみて、ルーツは中国が朝鮮なのかも知れません。

### ◆箱根町

湯宿をもつ、外輪山に囲まれた古いカルデラの中に発達したいくつかの町村が合併して、昭和三十一年に今の箱根町ができました。面積は、約九十四平方キロ。人口は二万五千七十七人。うち、二万

一千余人が女性です。世帯数は、五千七百三十一で、町立保育園が三園、家庭福祉員を含む民間保育園三園、幼稚園(すべて町立)が四園あります。

### ◆温泉宿

「箱根七湯」といって、昔は有名な温泉場は七カ所でしたが、今では十六カ所にふえ、旅館が二百九軒、保養所・寮は四百二十二軒

あります。そして旅館は昭和三十五年をピークに、この十五年間に漸減していますが、保養所・寮は、四倍にふえています。又、箱根は避暑地ですから、麓の湯本をのぞく他の温泉場は、いずれも八月が最も混みあっています。因みに、一年間（昭和五十一年）にこの温泉場を訪れた宿泊客は、旅館が二百五十八万人、保養所・寮が百四十二万人でした。「箱根七湯」には、坂田金時が入った姥子や太閤の石風呂がありますが、めずらしいのは、湯本の泉源です。天皇をはじめ皇族、木戸孝允などが常宿としていた格式高い旅館「福住」の裏山にあるこの泉源は、山の中腹に横穴のトンネルを掘ってあつ

### ◆はこねみち

縄文時代からあつたと思われる最も古い道は乙女峠を越えて仙石原に出、再び明神岳を越えて足柄平野に出る碓氷道。奈良平安時代の官道であつた足柄峠越えの足柄道。当時副官道だつた元箱根から芦の湯・湯本などの温泉場を通る湯坂道が、箱根越えの長い歴史の担い手でしたが、元和四年決定の新官道は、参勤交替の大名が温泉で落ち合つて謀反の計画を立てさせないために、温泉地を通ることを禁じました。ですから今残っている旧道には温泉場は一つもありません。本陣は畑宿に置かれていました。現在の国道一号線は明治に入つて、福住、宮の下富士屋ホテル、芦の湯松坂屋・紀の国屋などの経営者が中心となつて作つた車道、温泉道が基盤となって作られました。

### ◆箱根細工

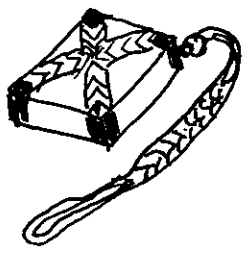
このページのカットは、財布などにつける箱根細工のアクセサリーです。この模様は、数種類の色の違つた鉛筆ぐらいの長さの棒を組み合せて作つたもので、金太郎館の寄せ木版といつたところで、

このアクセサリーには、いったい何本の木が使われているのでしょうか。私の数えたところでは八十本でした。この寄せ木の模様は、大きいものは三十センチ四方もありますが、これを薄く削いで箱に貼ります。箱根細工の寶石箱や小引き出しには「からくり」があつて、そのままでは、蓋や引出しの開かない精巧なものがあります。又、大きな板の内側を、糸ノコでくりぬいて、いろいろな色の違う木片をはめ込んで、浮世絵だの大名行列だのの絵を作ります。つまり、木画と呼ぶ象眼ですから裏も表も当然同じ絵になります。しかし、この絵は大変高価ですから、普通は、うすく削いで、同じ絵を何枚も作ります。そして額に入れますが、印刷でないことを証明するために、糊付けはせず、ガラスで押えておくだけにしてあります。額の中の大名行列などの絵をよく見

が、マツカーサー元師が日本を去るとき、記念に贈つた彼の肖像画はこの箱根細工でした。薄く削いだものではなくて、半紙大で厚さが一センチもありました。たしか、その時の製造費が百万円だつたと聞いていますから、今注文したら、いったいいくらかかるのでしょうか。まったく見当が付きません。受注後完成まで六ヶ月を要するこの芸術作品は、実にすばらしいのですが、最近はいよいよ職人が減りました。主として旧道のなかほどの畑宿で、この寄せ木細工が作られていますが、名人と呼ばれる職人は、現在三人しか残っていないようです。この寄せ木の角材を、ロクロで削つて作つた、いわゆるムクの裏や香合も有名です。又、タバコやコインが消える手品の箱も、箱根細工の名物です。因みに、この寄せ木の糊はニカワでしたが、最近では、ボンドになりました。

### ◆てんき

七月の箱根は雨が降りません。仙石原中学校気象部の過去二十五年間の観測結果をみると、快晴四日、晴れたり曇つたりの日十二日、曇り七日で、雨の日は零です。箱根の七月は、観測が始つて以来二十五年もの間、一滴も雨が降らなかつたことになりました。上空の気



と、絵が波をうつていたり、しわになっていたりするのはそのためです。もうだいたふ前になります



流が悪く、飛行機の難所で天候の変化が激しいので有名な箱根山としては、本当にめずらしい記録なのです。これが、関プロ開催日設定の所以です。

又、箱根の夏(平均気温が二十度を越える月)は、七、八、九の三か月ですが、七月の最高気温二十五・一、最低気温十七・七、平均気温二十二・六度で、避暑地として最適です。

◆ 黒タマゴ

大湧谷の名物ですが、「箱根小涌園」も、この黒タマゴを名物にしています。百度近い硫化ガスを含んだ水蒸気を噴き出す噴気孔の上に甕に入れた卵をのせると、わずか三分でゆでたまごになります。が、硫黄を含んだガスのおかげで卵の殻が、まっくらになってしまします。効き目のほどをおためし下さい。

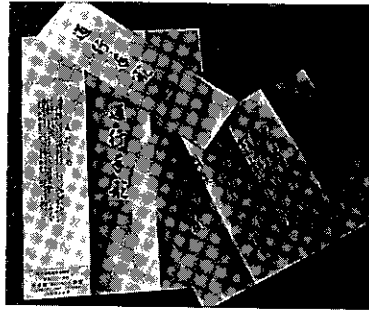
◆ 交通戦争

この箱根は、東急の五島慶太・西武の堤康次郎の両氏(いずれも故人)が専用道路の建設とその周辺の土地の買い占めでしのぎを削ったところです。五島の箱根登山鉄道と堤の伊豆箱根鉄道は、いずれも自分達の専用道路を中心としたバス路線を持っていますが、国

道一号线ですれ違う両社のバスの運転手は、めつたに挨拶を交すことがありません。この戦争の末期になぐり込んだオ三勢力が藤田觀光の小涌園です。

◆ 記念乗車券

箱根登山鉄道は、今年開業九十年を迎えました。その記念乗車券が発売されています。嘉永五年正月五日伊勢参りの百姓十九名が関所に提出した通行手形の複製版に、旧東海道經由箱根町小田原間の路線バス乗車券が刷り込まれて



いて、十一月末日まで有効です。七百年で小田急箱根湯本駅前の営業所で売っています。

◆ 登山電車

小田原強羅間を結ぶ箱根登山電車は、大正八年に開通したもので、スイッチバックでゆつくりと五十

分かって走っています。今は沿線のアジサイがみごろです。

◆ 大湧谷

さかんに水蒸気をふきあげていて、箱根で最も壮観な眺望が楽しめるのがこの大湧谷です。強羅からケーブルカー、ロープウェイと乗り継ぐか、バスで行きますが、何といってもロープウェイからの眺めが一番です。霧の出たときなどは、ガスが足もとに漂って、鼻をつく悪臭と、三日に一度の火山性直下形地震がおこっているのに噴火するのではないかとおそれている人もいますが、今のところはその心配はなさそうです。

◆ いしだたみ

箱根の街道は石だたみの舗装道路です。この石だたみは、箱根ラインバイクという有料道路を作る際に保存するかどうか論議的になりましたが結局は有料道路の上に橋をかけた状態にして残すことにきまつたものです。このような史跡の残し方は世界でもめずらしいものです。このいしだたみは、煙宿から芦の湖畔の元箱根までが、よく保存されていますが、元箱根寮の河原の前で、杉並木が山に登るところから歩きはじめ、甘酒茶屋の上までと、煙宿の一里塚のあ

たりが、最も趣きがあります。バスで元箱根まで登り、石だたみを歩いて、甘酒茶屋か煙宿からバスで小田原に帰るコースが、最近よく利用されています。

◆ 早川と須雲川

カルデラ内の湖に源を発する川が外輪山を破って外に出て、谷を刻んで流れ下るものを火口瀬といいますが、箱根には二本の火口瀬があつて、国道一号线に沿って深い谷を刻む早川、旧道に沿って流れ下る須雲川がそれです。宮の下あたりの早川は非常に深い谷ですが、その谷底に温泉が湧き出ている、堂ヶ島温泉と呼ばれています。谷底ですから、せせらぎしか聞えない落ちついた温泉です。ここには大和屋と対星館という、二軒の湯宿がありますが、お客さんを宿に運ぶために、大和屋はロープウェイ、対星館はケーブルカーとそれぞれ自家用の交通機関を持っています。松本清張の「蒼い描点」の舞台になったところです。

◆ 早川と須雲川

須雲川の上流の岩を噛む溪流には体長十五センチほどの、天然記念物ハコネサンショウウオが棲息します。この須雲川と早川が、湯本付近で合流します。湯本温泉場でバスを降りると目の前に福住が眺められますが、その早川にかか

◆ 入鉄砲出女

江戸幕府は、大名達のクーデターを防止するために、人質にとつた大名の家族婦女の、くにおもてへの脱出と、鉄砲の移入をきびしく取り締るために箱根に関所を作りました。特に女の詮議はやかましく、別室で帯を解かせ、密書がないか元結のコヨリまでひろげて調べるおばあさんが雇われています。この関所は元和四年(一六一八)に設けられましたが、現在の建物は、昭和四十年に復元されたものです。

◆ 箱根町

関所の先に箱根町があります。この郵便局は日本最古のもので、駅伝の華、東京箱根駅伝の往路のゴールはこの郵便局前です。

(富田英雄)

役員名簿 (53年度)

神奈川 県 保 育 会

▽委員会

会 長 安部龍蔵(みどりの家)

副会長 鈴木栄一(新日本)

鈴木花枝(荻野すみれ)

鈴木萬吏(西湘秦野)

今井寿子(辻堂)

富田英雄(若瀬)

朝比奈秀行(むくどり)

望月正道(小田原)

渡部将賢(和順)

高橋忠男(林台)

委員 (園名後記項参照)

廣田正明・高木睦子・桜井シズ

脇坂了教・山下淳一郎・渡辺正幸

青山ウタ・臼井恭子・都築誠真

矢野勘八・込山将・石野きよ子

相馬翠・川口龍雄・込山起一郎

小川玉子・梶谷久子・堀起洋子

小島富子・平島範子・大原森市

伊藤祐信・友野房夫・渡辺海存

本良美寿・中村照子・関戸丈夫

真喜志通子・長谷川愛子・北村桂子

▽企画運営委員会

鈴木萬吏(西湘秦野)、富田英雄(若瀬)、今井寿子(辻堂)、廣田正明(小光子)、安部龍蔵(みどりの家)、都築誠真(山王)、鈴木花枝(荻野すみれ)、朝日奈秀

行(むくどり)、鈴木栄一(新日本)、真喜志通子(保母会)

▽労務対策委員会

今井寿子(辻堂)、高木睦子(長岡)、青山ウタ(柳町)、鈴木萬吏(西湘秦野)、安部龍蔵(みどりの家)、鈴木花枝(荻野すみれ)、大原森市(わかば)、鈴木栄一(新日本)、真喜志通子(保母会)

▽予算対策委員会

鈴木花枝(荻野すみれ)、桜井シズ(日の出)、脇坂了教(城ヶ島)、山下淳一郎(富士見)、渡辺正幸(松ヶ丘)、臼井恭子(大神)、矢野勘八(石橋)、込山将(西秦野)、石野きよ子(ふくざわ)、相馬翠(二宮)、込山起一郎(立花)、川口龍雄(岩)、安部龍蔵(みどりの家)、小島富子(清水)

平島範子(大沢)、伊藤祐信(厚木市)、友野房夫(草柳)、渡辺海存(伊勢原)、本良美寿(たちばな)、中村照子(吉岡)、関戸丈夫(城山町)、長谷川愛子(保母会)

▽会報編集委員会

鈴木栄一(新日本)、藤田保夫(横浜市福祉部会)、富田英雄(岩瀬)、渡部将賢(和順)、安部龍蔵(みどりの家)、鈴木萬吏(西湘秦野)、北村桂子(保母会)

▽給食問題研究委員会

高木睦子(長岡)、望月園(小田原)、須藤紀世(夏)、原口愛

子(宮崎)、外山松子(しらさぎ) 富米野知子(宮城野)、富田昌子(岩瀬)、正岡弘子(南秦野)、内川照子(川崎乳児)、渡辺真理子(南平間)、藤井敏子(神愛)

(以上○印委員長)

昭和三十三年度神奈川 県 保 育 会 新 役 員

会 長 鎌倉市 材木座保育園 真喜志通子

副会長 小田原市 国府津保育園 長谷川愛子

下 郡 二の平保育園 北村桂子

書 記 藤沢市 辻堂保育園 野中恵美子

会 計 南足柄市 塚原保育園 山口裕子

大和市 緑野保育園 池畑幸子

返子市 沼間愛児園

老川リミ子

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市

返子市



神奈川 県 保 育 会 の 安 部 会 長 は、最近膝の関節炎で悩んでいます。

「もう年だから引退したいよ」とあのタフさがどこか影をひそめて、まったく信じられない程弱気ですが、それでも、「この関アロだけは私の手で」と痛い足をひきずりひきずり頑張っています。足の痛みのせいか、あまり嬉しそうな顔をしたことのないこの会長がめずらしく、ややさみしげだが嬉しそうな顔をしたのは、「保母の日」制定のニュースが入った日でした。

「ちよっぴり不満でちよっぴり不安です」と率直に感想をもらした安部会長は、この日の実現のために、婦人懇話会の諸先生方と手をとりあって、それはそれは大変な苦勞をいたしました。

彼は「保育の日」又は「保育まつり」の実現が、二十年來の夢だったのです。

ちよっぴりの不満とは「保育の日」が「保母の日」になったことでした。彼の、保護者も含めた「保育まつり」構想の実現が遠のいたことです。不安とは、「保母の日」の式場が満席になるだろうか、ということでした。しかし、これはまったくの杞憂でした。当日の音楽堂は、あふれんばかりの人人人で、立錐の余地もありませんでした。まずは大成功です。知事はじめ、関係諸君の大英断によって実現した日本で最初の「保母の日」が、私達の理想とする方向へと、進むよう、保護者会などに、積極的に働きかけて、更に発展させようではありませんか。

(富田英雄)

渡部将賢

北村桂子

故内山岩太郎筆

安部龍蔵

編 集 者

第22号 昭和53年7月1日

発行所

横浜市神奈川区沢渡4の2

神奈川 県 社 会 福 祉 協 議 会

保 育 分 科 会

神 奈 川 県 保 育 会

編 集 発 行 人

安部龍蔵

故内山岩太郎筆